

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2014-110180(P2014-110180A)

【公開日】平成26年6月12日(2014.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2014-031

【出願番号】特願2012-264564(P2012-264564)

【国際特許分類】

H 05 H 13/00 (2006.01)

【F I】

H 05 H 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月13日(2014.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

制御部6において、例えばコイル4に対する電流量の変化Iは、側ヨーク部10の平均温度の基準温度(例えば常温)からの変化量Tyと、上ポール12及び下ポール13の平均温度の基準温度からの変化量Tpを用いて以下の式(3)で表わすことができる。なお、A, Bは係数である。

(数3)

$I = A \times Ty - 2B \times Tp \dots (3)$

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

以上説明した第1の実施形態に係るサイクロトロン1によれば、上ポール12の温度と側ヨーク部10の温度に基づいてコイル4への電力供給を制御するので、ポール3及びヨーク2の熱膨張によりポールギャップLgに変化が生じても、温度によるポールギャップLgの変化の影響を反映して磁場を高精度に制御することができ、イオンビームの制御の安定化を図ることができる。